

「自らの地域は自らで守ろう！」

町内外との連携で実現した新たな獣害対策

伊勢市横輪町サル対策有志グループ

●集落(地区)の概要

- 所在地:伊勢市横輪町
- 戸数:36戸、人口:56人
- 農地の状況:水田1.2ha等
- 主な作物:水稻、露地野菜
- 主な加害鳥獣:ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ

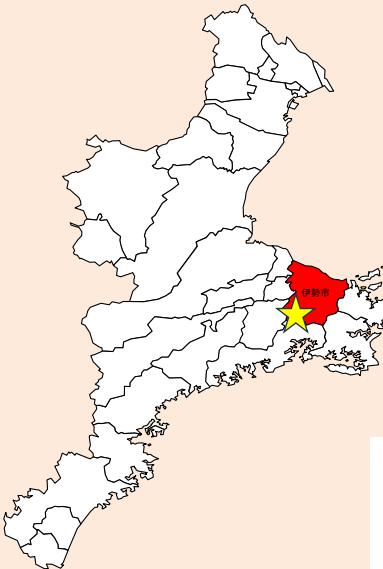


図1 横輪町全体図

●活動の様子



写真1 町外のメンバーと連携し確保した餌を大型檻に餌付けした様子

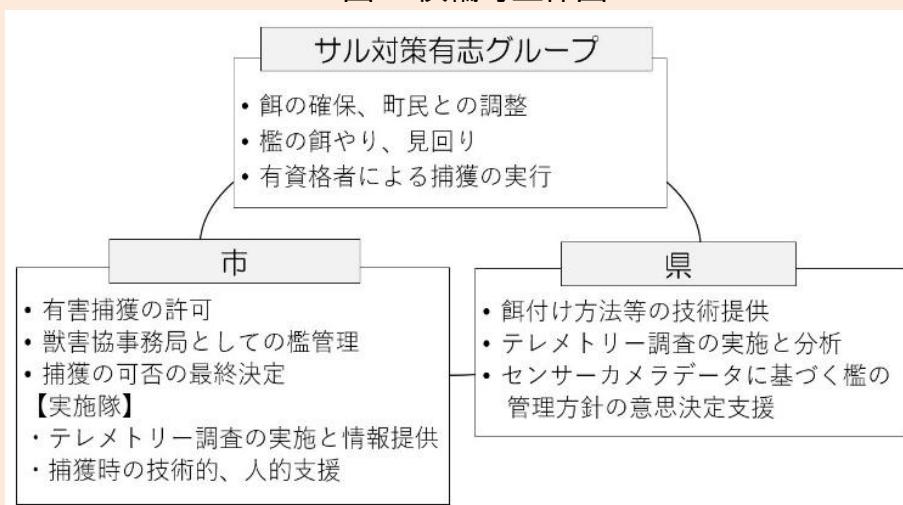


図2 サル対策の役割分担



写真2 季節に応じた餌の確保



写真3 サル対策検討会の様子

●概要

- 横輪町は、山に囲まれた地域であるため、サル、イノシシ、シカを中心とした獣害には苦しんでおり、農産物の生産振興には獣害対策が必須であった。(図1)
- これまでに、防護柵の設置や追払い等に取り組んだが、サルによる被害が防ぎきれない状況が課題となっていた。
- サルの被害軽減に向けて、町内外と連携することで、餌の確保や見回りなどの安定的な捕獲体制を実現した。(写真1~3)



写真4 今年は無事に実りを迎えた棚田

●成果

- 人口減少下において獣害対策を継続して実施できる体制を整えるために、町内外の多様なメンバーと連携した捕獲等の対策を実践しサルの被害を1/3以下にまで減少させた。
- グループの中で狩猟免許を持っていなかった若手らが狩猟免許を取得するなど、鳥獣被害対策活動の担い手の育成が行われている。
- 大型檻による捕獲等に向け、有志グループや県、市などの関係機関が役割分担を明確化し、必要な対策を実施した。(図2)

今後に向けて

地域の未来を見据えた新たな地域活性化への取組にも期待！